

地域医療連携だより

平成30年4月 vol. 5

三浦半島春の風物詩
三浦キャベツ畑
当院事務職員撮影

平成30年度が始まりました。

今年度は診療報酬改定の年です。また、今回は診療報酬、介護報酬の同時改定であると共に、新たな医療計画、介護保険事業計画がスタートとなる年度でもあります。

診療報酬改定においては「入院基本料の新評価体系」への見直しと、地域包括ケア病棟入院料の自宅からの受入評価、介護報酬改定については療養病床からの転換先である介護医療院の創設が話題となっています。

また、「働き方改革」への対応も悩ましい問題ですから、医療機関にとっては、非常に慌ただしい年度となりそうです。

上の写真は、久里浜医療センターがある三浦半島の名産、三浦キャベツの畑の写真です。新年度になり、当院にも新たな職員を迎えました。医療機関にとっては難題の多い年度となるかもしれませんが、新人の頃のみずみずしい感性を忘れないようにしたいものです。

質問: 久里浜医療センターではどういう治療が行われているのでしょうか？

当院での主な治療法は、

「認知行動療法を取り入れた治療・回復プログラム」です。

これは、ギャンブルに対する偏った考え方(例えば、『この台は必ず当たる』『あといくら使えば必ず大当たりする』など)を、より前向きで健康的な考え方に修正したり、ギャンブルへの衝動が起こったときにどのように対処したらよいかを自分自身で考えたりするプログラムです。

その他、**医師による面接、必要に応じて借金や就労問題への対処**などを行います。

通院できる方は外来治療が基本ですが、**生活環境を変えた方が望ましいケースなどでは、入院治療も行っています。**

入院治療では、さきほどの治療・回復プログラムに加えて、**ギャンブル依存症の勉強会、作業療法、GAへの参加**(ギャンブラーズアノニマス、当事者同士のミーティング)などを行っています。



質問: 毎日の生活の場では、例えば通勤時に駅前にパチンコ店があったり、誘惑も多いと思います。ある一定期間、**誘惑の多い場から離れて治療に専念**するというのも必要だと思いますが、そういう意味でも**入院して治療するというのは効果的なの**のでしょうか？

ギャンブル依存症になると、目の前のパチンコ屋など、ちょっとした刺激(引き金)が再ギャンブルの行動につながるがありますが、このような場合は、刺激を避けた環境が有効です。**入院治療は、再ギャンブルにつながる引き金から離れて、じっくりと治療を行う**ことができます。

質問: 費用や入院期間が気になる方も多いと思いますが、大体**どれくらいの期間、費用がかかる**のでしょうか？

入院期間は、**約2ヶ月**を設定していますが、**各患者様の仕事や家庭の事情に合わせて柔軟に設定**しておりますので、お気軽にお尋ねください。

また、費用は3割負担の場合、外来診療は初回、2回目は約8,000円、その後は2,000円。入院は1ヶ月約17万円(限度額認定証使用で約12万円)、家族相談は自費で40分9,000円です。また自立支援医療の適用では外来診療費が3分の1になります。

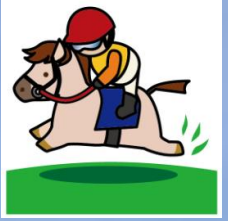
質問: 本人には自覚がなく、家族が困っているのに、どこにも相談できないという方もいると思いますが、久里浜医療センターでは**家族相談の仕組み**はあるのでしょうか？

ご本人の受診が難しい場合は、**ご家族のみの相談も承っています**。また、月に1回、**ご家族向けの家族教室を開催**しています。家族教室では、ギャンブル依存症の講義や、ご家族同士の情報交換を行っています。どうぞお気軽にご参加ください。

【特集ギャンブル依存症】

いわゆるIR法案の国会提出などに関連して、「ギャンブル依存症」への対策について目にする機会も増えてきましたが、それでも現在は「ギャンブル依存症」に対する認識を広める過程ですので、あまりよく分からない部分もあると思います。

今号では、久里浜医療センター松崎医師に「ギャンブル依存症」についてのよくある質問に回答して頂きました。



質問:ギャンブル依存症とはどのような状態のことを言うのでしょうか？

ギャンブル(賭博)とは、金銭等を賭けて、より価値あるものを手にいれる行為を指し、日本では、**競馬等の公営ギャンブル**や遊技の**パチンコ等**があてはまります。

多くの人は適度にギャンブルを楽しんでいます、そうでない人もいます。

ギャンブル依存症とは、**人生に大きな損害が生じるにも関わらず、ギャンブルの衝動が抑えられない病態**をいいます。

賭け金を追い求めて貯金を使い果たし、その行為を周りの人に隠し、借金が膨らんで盗みや詐欺に至ることがあり、更に自己破産、失業や自殺等の深刻な問題を引き起こすこともあります。

質問:他の依存症との違いはあるのでしょうか？

自分の行動、「**ギャンブルの衝動が抑えられない**」のは、**アルコールや薬物による依存症と同じように脳内の報酬系という神経回路が亢進しているため**と考えられています。

一方、ギャンブル依存症は、アルコールや薬物のように特定の物質を摂取するわけではないため、身体的には問題のない方が多いようです。

質問:ギャンブル依存症の患者さんは国内にどれくらいいるのでしょうか？

平成29年に厚生労働科学研究で行われた調査によると、**生涯を通じたギャンブル依存症の疑いは日本人の成人人口の3.6%**、直近1年では0.8%と推計されています。SOGS(The South Oaks Gambling Screen;世界的に最も多く用いられているギャンブル依存の簡易スクリーニングテスト)というスクリーニングテストを用いた調査です。実際に医師が診察をして診断された数字ではありません。

質問:無自覚なギャンブル依存症の患者さんも多いように思いますが、出来るだけ**早めに治療を開始**した方がよいのでしょうか？

ギャンブル依存症では、ギャンブル行動のコントロールができなくなるとともに、**借金などの金銭問題**が出現することがあります。また、ギャンブル行動を隠すため家族や友人に嘘をついてしまい、**人間関係に悪影響**を及ぼすことがあります。**治療が遅れると、そのような問題も進行してしまいますので、できるだけ早めに治療を開始したほうが良い**でしょう。



質問:ギャンブル依存症の患者さんやご家族の方に、簡単なアドバイスをください。

ギャンブル依存症が疑われる場合でも、患者さんご本人はなかなかギャンブル問題があることを認めようとしません。ですが、まずは本人自身が、「自分にはギャンブル問題がある」ことを理解するところから治療は始まります。**適切な治療によって、生活をうまくコントロールし、傷ついた人間関係や金銭問題を修復することにつながります。**

依存症は適切な治療・支援を行えば、回復が十分に可能な病気であることを周りの人も理解し、ご本人、あるいは**ご本人の相談が難しければ、ご家族だけでも結構**ですから、まずは気軽に**医療機関に相談してみましよう。**



独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 精神科医師 松崎尊信

病的ギャンブルへの「のめり込み度」チェックリスト

- ギャンブルにとらわれている
- 興奮を得たいが為に、掛け金の額を増やしてギャンブルをしたい欲求が生じる
- ギャンブルするのを抑える、減らす、やめるなどの努力を繰り返し、成功しなかったことがある。
- ギャンブルするのを減らしたり、またはやめたりすると落ち着かなくなる、またはいらいらする。
- 問題から逃避する手段として、または不快な気分を解消する手段としてギャンブルをする。
- ギャンブルで金をすった後、別の日にそれを取り戻しに帰ってくる人が多い。
- ギャンブルへののめり込みを隠すために、家族、治療者、またはそれ以外の人に嘘をつく。
- ギャンブルの資金を得るために、偽造、詐欺、窃盗、横領などの非合法的行為に手を染めたことがある。
- ギャンブルの為に、重要な人間関係、仕事、教育、または職業上の機会を危険にさらす、または失ったことがある。
- ギャンブルによって引き起こされた絶望的な経済状態を免れるために、他人に金を貸してくれるように頼ったことがある。

□にチェックが、5個以上ついた方は要注意です！

【ギャンブル依存症治療のお問い合わせは】 依存症全国拠点機関 独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター

ギャンブル外来 受診の仕方

- 初回受診は、完全予約制となっております。
予約の曜日と時間

月	8:30	9:30	10:30
水	10:00	10:30	11:30
木	10:30	11:30	-

「ギャンブル依存症」は病気です

- ・ギャンブルの事が【頭から離れない】
- ・負けた金を【取り戻そうとしてギャンブルしてしまう】などは、**「依存症」**が理由かもしれません

はじめよう治療!「これから」の為に

ギャンブル依存症診療
(平日月~木) ※初回受診は、予約制となっておりますので、以下までご連絡下さい。

TEL.046-848-1550 依存症全国拠点機関 神奈川県横須賀市野比5-3-1
【お問い合わせ時間】 平日(年末年始を除く) 8:30~17:00 独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター

勝っても負けても使った時間は戻ってきません

- 受診予約・・・まずは、地域医療連携室まで、お問い合わせください。

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 地域医療連携室

〒239-0841 神奈川県横須賀市野比5-3-1

TEL 046-848-2365 (直通) 受付時間: 平日 午前8時30分 ~ 午後3時